

ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式

usv.troweprice.com



当ファンド
の特設サイト
はこちから

ティー・ロウ・プライスの
Webサイトへ移動します



ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）
R&Iファンド大賞 2025
投資信託 北米株式バリューデ部分

最優秀ファンド賞 受賞



「ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式
ファンド Bコース（為替ヘッジなし）」が、
株式会社格付投資情報センター（R&I）の
「R&Iファンド大賞2025」におきまして
最優秀ファンド賞を受賞いたしました。

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「投資信託部門」は過去3年間、「投資信託10年部門」は過去10年間、「投資信託20年部門」は過去20年間を選考期間としている。選考に際してはシャープレシオによるランキングに基づき、最大ドローダウン、償還予定日までの期間、残高の規模等を加味したうえで選出している。選考対象は国内籍公募追加型株式投信とし、確定拠出年金専用およびSMA・ラップ口座は除く。評価基準日は2025年3月31日。

ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
 Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
 Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
 追加型投信／海外／株式



■ Aコース（為替ヘッジあり）

基準価額	10,496円	設定日	2021年9月7日
純資産総額	126.2億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年12月15日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率 (%)

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.08	0.57	4.55	-1.12	17.83	4.96

分配金実績 (1万口当たり、税引き前)

	第1期	第2期	第3期	第4期		累計
分配金	0円	0円	0円	0円		0円

※基準価額は1万口当たりとなっています。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

■ Bコース（為替ヘッジなし）

基準価額	17,893円	設定日	2021年9月7日
純資産総額	969.5億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年12月15日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率 (%)

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.12	8.35	16.22	6.79	55.40	78.93

分配金実績 (1万口当たり、税引き前)

	第1期	第2期	第3期	第4期		累計
分配金	0円	0円	0円	0円		0円

※基準価額は1万口当たりとなっています。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド

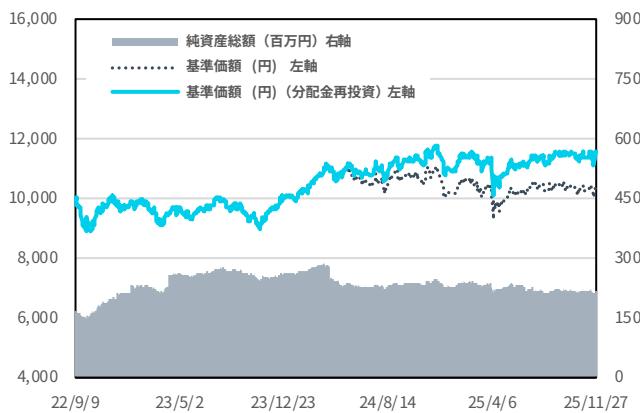
Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
 Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
 Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
 追加型投信／海外／株式



■Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）

基準価額	10,472円	設定日	2022年9月9日
純資産総額	219.5百万円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（%）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.08	0.59	4.59	-1.16	17.15	16.08

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	累計
	'25/7/15	'25/8/15	'25/9/16	'25/10/15	'25/11/17	
分配金	0円	100円	100円	0円	0円	1100円

※基準価額は1万口当たりとなっています。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

■Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）

基準価額	11,183円	設定日	2022年9月9日
純資産総額	2,351.2百万円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（%）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.09	8.28	16.11	6.70	54.81	50.65

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	累計
	'25/7/15	'25/8/15	'25/9/16	'25/10/15	'25/11/17	
分配金	100円	100円	100円	100円	100円	3400円

※基準価額は1万口当たりとなっています。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
 Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
 Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
 追加型投信／海外／株式

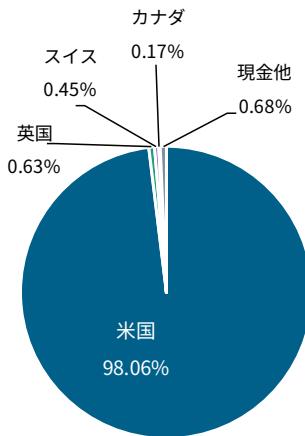


ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式マザーファンドの状況

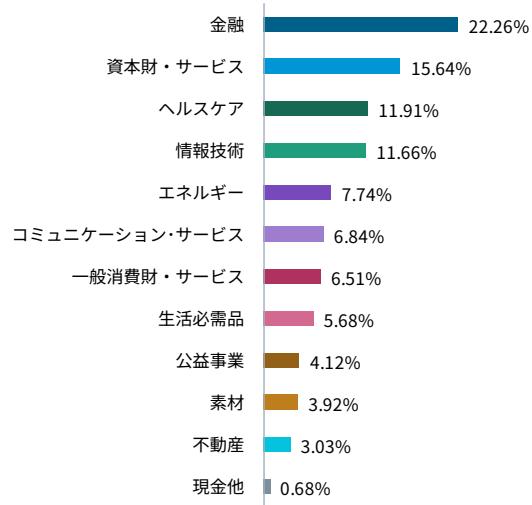
■資産配分

株式等	99.32%
現金他	0.68%
合計	100.00%

■国・地域別配分（上位5カ国）



■セクター配分



※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。

※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類にて区分しています。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。

※現金他には、キャッシュのほか未収・未払金等を含んでおり、マイナスとなる場合もあります。

■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：102銘柄)

	銘柄名	セクター	通貨	国・地域	構成比
1	アルファベット (注1)	コミュニケーション・サービス	米ドル	米国	4.52%
2	JPモルガン・チェース	金融	米ドル	米国	3.93%
3	バークシャー・ハサウェイ	金融	米ドル	米国	3.34%
4	キーサイト・テクノロジーズ	情報技術	米ドル	米国	2.54%
5	ディア	資本財・サービス	米ドル	米国	2.39%
6	オールステート	金融	米ドル	米国	1.86%
7	アメテック	資本財・サービス	米ドル	米国	1.81%
8	ウェスティングハウスエアブレーキ・テクノロジーズ	資本財・サービス	米ドル	米国	1.71%
9	コノコフィリップス	エネルギー	米ドル	米国	1.69%
10	パークー・ハネфин	資本財・サービス	米ドル	米国	1.67%
合計					25.46%

※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。

※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類にて区分しています。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

(注1) 当該銘柄は、同一企業の発行する種類の異なる株式を合算しています。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式



運用担当者のコメント

■市場概況

11月の米国株式市場（S&P500指数、米ドルベース）は、いったん軟調に推移した後、下旬に反発し、下げを埋めました。

米国株式市場は上旬から中旬にかけて軟調な展開となりました。複数の米地区連銀総裁がインフレ警戒により12月の利下げに慎重な姿勢を示す中、高値警戒感から10月まで相場をけん引してきた人工知能（AI）関連銘柄からの資金流出が進みました。しかし、史上最長の期間となった米連邦政府機関の一部閉鎖が解除され、その後に発表された9月の小売売上高や失業率がいずれも米景気の減速を示すものだったことを受けて12月の利下げへの期待が高まったため、株式相場は下旬に上昇し、前月末をやや上回る水準で月末を迎えました。

大型テクノロジー銘柄を中心に、前月までの株価上昇が著しかった銘柄から出遅れ銘柄に投資家の選好がシフトした状況を反映して、S&P500指数の業種（世界産業分類基準に基づく11セクター）別のパフォーマンス（トータルリターンベース）では、「情報技術」や「一般消費財・サービス」、「資本財・サービス」が下位となつた一方で、「ヘルスケア」や「素材」、「生活必需品」などが上位となりました。また、「コミュニケーション・サービス」はテクノロジー銘柄を多く含みますが、当月はグーグルの親会社のアルファベットにけん引され、上位にとどまりました。Russell1000のスタイル別指数はバリュー株優位の展開でした。また、為替市場では米ドルが円に対して続伸し、円ベース・リターンの押し上げにつながりました。

■運用概況

11月のファンドの騰落率は、Aコースは+2.08%、Bコースは+4.12%、Cコースは+2.08%、Dコースは+4.09%となりました。

組入銘柄では、当月もアルファベットが最大のプラス寄与となりました。10月末近くに好決算を発表したことにより、当月は投資会社のパークシャー・ハサウェイによる株式保有が明らかになったほか、自社製半導体（TPU）で新開発したAIモデル「Gemini3」が高評価を集めることで、高値警戒感から値を崩す他の主要テクノロジー銘柄に逆行高となりました。そのパークシャー・ハサウェイの組み入れもプラスに寄与しました。アルファベット株に連れ高となったうえ、当月初めに発表した7-9月期決算が保険事業の好調さにより大幅な営業増益となり、長年同社を率いてきた著名投資家のウォーレン・巴菲特氏の退任後への警戒から前月まで続いた株価低迷に歯止めがかかりました。また、世界最大級の電子計測器メーカーであるキーサイト・テクノロジーズも、好調な8-10月期決算を発表して株価が上昇し、組み入れがプラス要因となりました。

一方、データセンター向けにクラウド・ネットワーキング・システムを提供するアリスタネットワークスの組み入れはマイナスに寄与しました。底堅い7-9月期業績を発表したものの、AI関連銘柄全般に対する投資家の高値警戒感から株価が軟調な推移を強いられました。しかし当ファンドでは、データセンター業界におけるネットワーク方式（インフィニバンドからイーサネットへ）とネットワーク構成（3階層から2層アーキテクチャへ）の2つの移行が、高付加価値スイッチ市場における同社の市場機会とシェアを大幅に拡大すると期待しています。

■今後の見通し

11月の米国株式市場については、AI関連銘柄が値を崩した際の相場のせい弱さと、一方で他のセクターやバリュー銘柄が下支えすることによる相場の底堅さの双方が示されたと受け取っています。今後についても、景気減速（特に投資や雇用に対する企業の慎重姿勢の強まり）やインフレ高止まりなどの警戒すべき要因と、一方で利下げ継続や規制緩和、財政出動の効果、企業が現在の不透明な環境に想定以上に巧みに対処しているなどの楽観要因とが併存し、基本的にはそれら双方を両にらみしながら適度な慎重姿勢を保つことがポートフォリオ運営においては適切と考えています。

こうした考え方の下、当ファンドでは投資対象の分散とポートフォリオのリスク・バランスの確保を重視し、愚直に実践しています。一定のバリュエーション規律は重視しながらも、株式市場のけん引役が交代する場合も、あるいはリスク選好が高まる場合でも後退する場合でもリターンを確保できることを念頭に、銘柄の選別とポジショニングを決定しています。

当ファンドでは引き続き、持続的に安定したファンダメンタルズの見通しと企業のクオリティを重視しながらも、バランスのとれたアプローチを維持して優良銘柄の発掘に努め、市場環境の変化に耐えうるポートフォリオを維持しようと考えています。今後も、世界中に広がる調査網を最大限に活用し、企業レベルのファンダメンタルズやバリュエーション水準などを重視しながらも、単純な「割安さ」だけにとらわれず、①景気拡大の恩恵が株価に十分に織り込まれていない、②個別の問題が改善すれば株価上昇が見込める、③将来の業界の構造変化がチャンスとなりうる、といった複数の視点・多様な着眼点から上昇が期待される有望株を割り出す「成長株投資家ならではの割安株投資」を通じて、お客様に分散投資の手段を提供し、運用資産の多様化に貢献することを目指します。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式



ファンドの特色

1 ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、米国の株式の中で、企業の本質的価値に比較して過小評価されていると判断される株式を中心に投資を行います。大型株式への投資を基本としますが、中型株式等へも投資する場合があります。なお、米国以外の企業にも投資することができます。

2 銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づく「ボトム・アップ・アプローチ¹」を重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティー・ロウ・プライス²のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。
*1 ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。
*2 委託会社およびその関連会社をいいます。

3 <Aコース／Cコース>
実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
<Bコース／Dコース>
実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※市場動向、資金動向、信託財産の規模等により、上記のような運用ができない場合があります。
※上記は当ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色を含みます。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。

ファンダの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

当ファンドが有する主なリスク(ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドが有するリスクを含みます。)は以下の通りです。

株価変動リスク

当ファンドは、米国の株式を主要な投資対象としますので、その基準価額は、株式(米国預託証券(ADR)等を含みます。)の値動きにより、大きく変動することがあります。株価は、発行企業の業績、市場での需給関係、政治・経済・社会情勢等の影響を受けて、ときには大きく変動します。発行企業が経営不安や倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

為替変動リスク

AコースおよびCコースは、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、為替ヘッジを行う際は、通貨間の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があり、ファンドの基準価額に影響します。

BコースおよびDコースは、原則として対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接受けます。したがって、為替相場が円高方向に進んだ場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、為替相場は大きく変動する場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替変動リスクもあります)を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式



分配方針

<Aコース／Bコース>

■ 年1回の決算時(毎年12月15日。休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の分配方針に基づき分配を行います。

- ・分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、必ず分配を行うものではありません。
- ・留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

<Cコース／Dコース>

■ 每月の決算時(毎月15日。休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の分配方針に基づき分配を行います。

- ・分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、必ず分配を行うものではありません。
- ・留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

■ 每決算日の前営業日の基準価額に応じて、以下の金額の分配を行うことを目指します。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※毎決算日の前営業日の基準価額の水準に応じて上記の表に基づく分配金額を支払うことを原則としますが、その金額は変動するものであり、基準価額の水準によっては分配金が支払われないこともあります。したがって、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
※基準価額が上記の表に記載された水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配が次期決算以降も継続されるというものではありません。
※分配金の支払いにより純資産総額は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。
※分配金の支払いのために、現金化またはポートフォリオ再構築を行うための追加的な取引コスト等が発生する場合や現金の保有比率が高まる場合があります。
※「収益分配金に関する留意点」もあわせてご覧ください。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド

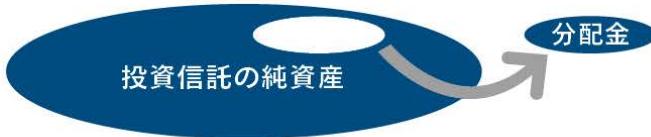
Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式



収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

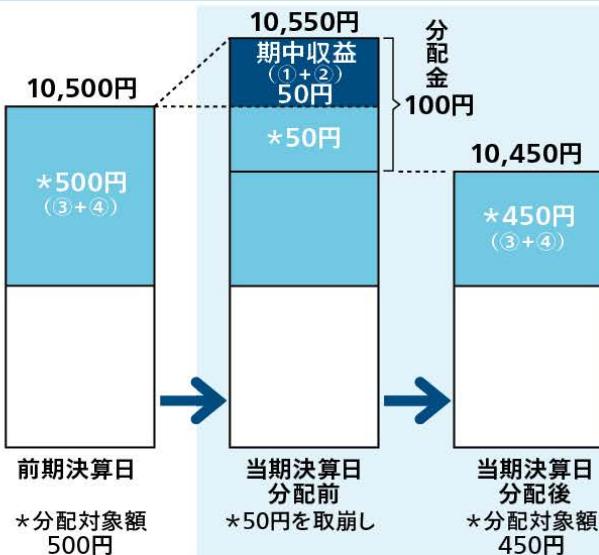
投資信託で分配金が
支払われるイメージ



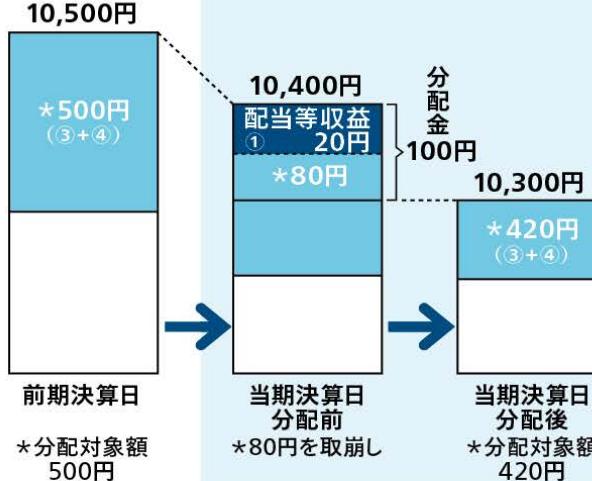
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



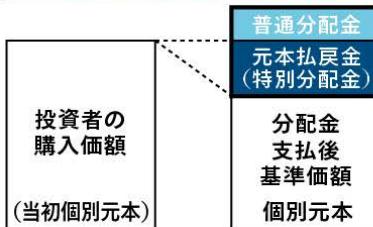
*分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部戻しに相当する場合



※元本戻戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本戻戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。



普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本戻戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本戻戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式



お申込みメモ

	購入単位	一般コース:1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいそく投資コース:1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 ※購入後のコース変更はできません。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入時	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
換金時	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。
申込について	申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社が受けた分を当日のお申込み分とします。 ※販売会社によっては上記と異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、1日1件10億円を超える換金はできません。また、委託会社の判断により、別途制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日には、お申込みの受付は行いません。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。
	購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。 なお、主要投資対象市場の規模・流動性等を勘案し、購入のお申込みの受付を制限することがあります。
		※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
		原則として無期限 (設定日:2021年9月7日(Aコース／Bコース)、2022年9月9日(Cコース／Dコース))
	線上市償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(線上市償還)することができます。 ・各ファンドについて受益権口数が50億口を下回ることになった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認める場合 ・信託契約を解約することに正当な理由がある場合
	決算日	Aコース／Bコース:毎年12月15日(休業日の場合は翌営業日) Cコース／Dコース:毎月15日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配	Aコース／Bコース:年1回の決算時に、分配方針に基づいて分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 Cコース／Dコース:毎月の決算時に、分配方針に基づいて分配を行います。 ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
その他	信託金の限度額	各ファンドについて1兆円を上限とします。
	公告	公告を行う場合は日本経済新聞に掲載します。
	運用報告書	AコースおよびBコースは毎年12月の決算時および償還時に、CコースおよびDコースは毎年6月、12月の決算時および償還時に、期中の運用経過などを記載した交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知られている受益者に対して提供・交付します。
	スイッチング	AコースとBコースの間、CコースとDコースの間でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、通常の換金時と同様に税金がかかります。
	課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 一定の要件を満たした公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象となります。 AコースおよびBコースはNISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。CコースおよびDコースはNISAの適用対象ではありませんので、ご留意ください。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
	購入時手数料	運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、年1.4575% (税抜1.325%) の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、AコースおよびBコースは毎計算期の最初の6ヵ月終了日(休業日の場合は翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のとき、CコースおよびDコースは毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
購入時手数料	購入代金	信託事務の諸費用等	法定書類等の作成等に要する費用(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提出にかかる費用)、監査費用、計理業務およびこれに付随する業務にかかる費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11% (税抜0.1%) を上限とする額が毎日計上され、AコースおよびBコースは毎計算期の最初の6ヵ月終了日(休業日の場合は翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のとき、CコースおよびDコースは毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	手数料率	売買委託手数料等	組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等が、ファンドから支払われます。 ※運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。
購入時手数料	1億円未満	3.30% (税抜3.0%)	
	1億円以上5億円未満	1.65% (税抜1.5%)	
	5億円以上	0.55% (税抜0.5%)	
		※購入代金=購入口数×基準価額+購入時手数料(税込) ※スイッチングによる購入の場合は無手数料とします。	
信託財産留保額	ありません。		

※上記の手数料・費用等の合計額等については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
 Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
 Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
 追加型投信／海外／株式



当資料のご利用にあたっての注意事項

当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が作成したお客さま用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等を対象としているため、投資元本を割り込み損失が生じことがあります。ご購入の際は販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。

投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。

また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

個別銘柄につき、売買を推奨するものではありません。

当資料内で表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。

当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。

世界産業分類基準（「GICS」）は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル（「MSCI」）およびマグロウヒル・カンパニーズ傘下のスタンダード＆プアーズ（「S&P」）が開発した独占的財産およびサービスマークであり、ティー・ロウ・プライスにライセンス供与されています。MSCI、S&PまたはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれも、当該基準や分類（またはその利用から得られた結果）について明示的にも暗示的にもいかなる保証や表明もしません。また、すべての関係当事者は、当該基準や分類のいずれについても、その独創性、正確性、網羅性、商品性または特定の目的適合性について、いかなる保証からも明示的に免責されます。前述の内容を制限することなく、MSCI、S&P、その関連会社またはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれの場合も、直接的、間接的、特別、懲罰的、結果的またはその他のいかなる損害（逸失利益を含む）について、その発生可能性が通知されていたとしても、いかなる責任も負いません。

詳しくは、契約締結前交付書面および投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。

NOMURA

野村證券

お申込み：
投資信託説明書
(交付目論見書)
ご請求は

商号等：野村證券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



T.RowePrice

商号等：ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3043号
加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会